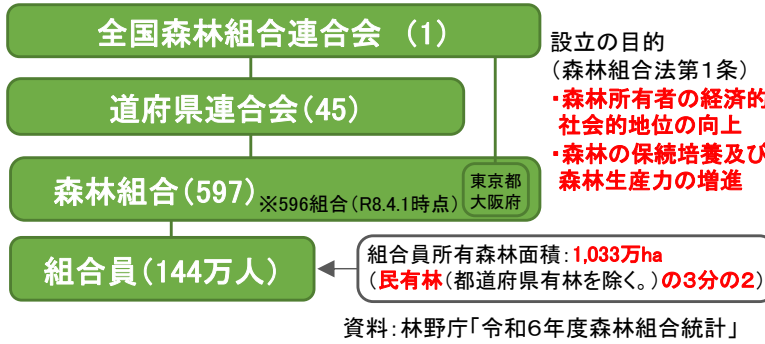
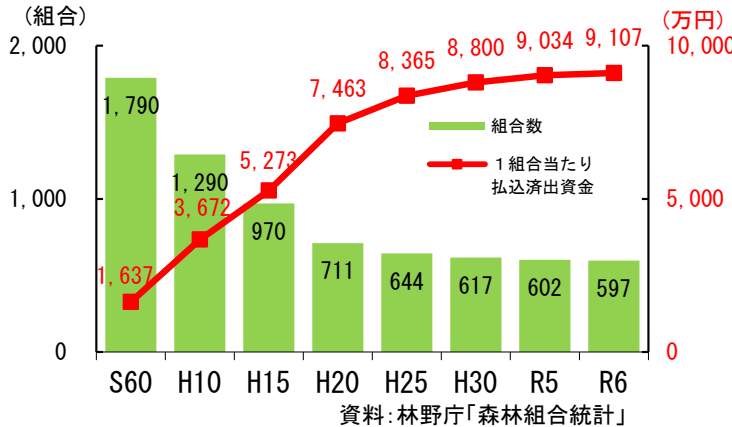


一目でわかる森林組合

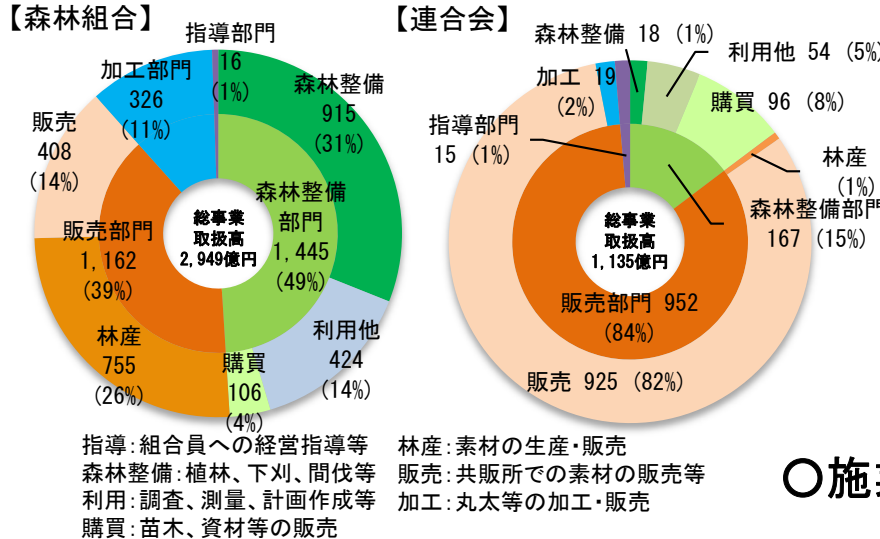
○森林所有者を組合員とする協同組織 で組合員所有林は民有林の約7割



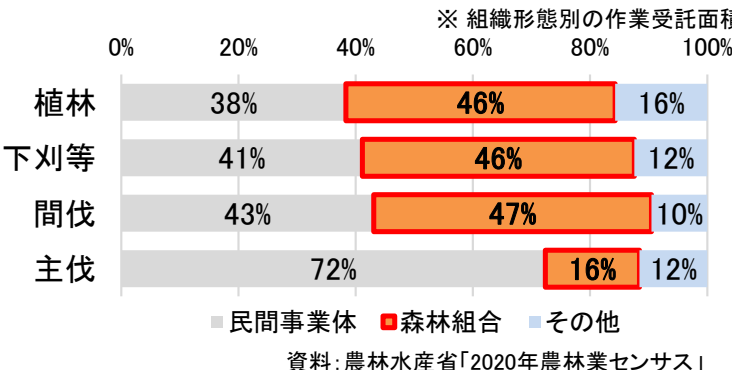
○経営基盤強化に向け合併を進め、 組合数は減少、経営規模は拡大



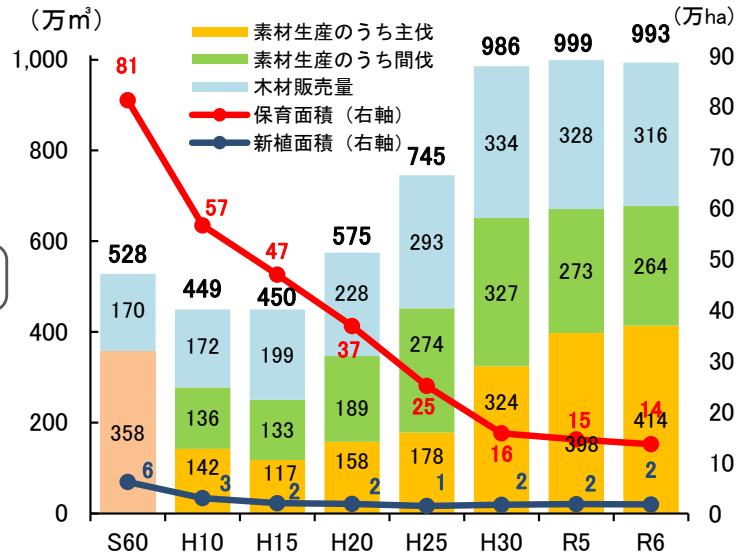
○森林組合は森林整備と販売、 連合会は販売が主要事業



○保育作業、間伐の半数は組合が受託



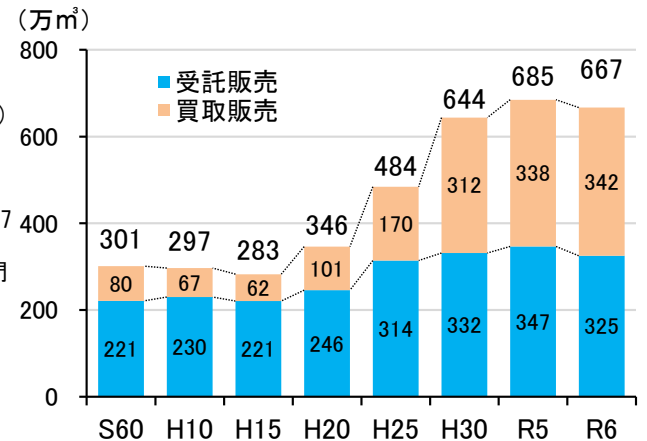
○人工林資源の充実に伴い 森林組合の素材取扱量が増加



国内生産量 に対する シェア	S60	H10	H15	H20	H25	H30	R5	R6
	15%	22%	26%	30%	34%	33%	29%	29%

➢ 連合会による販売事業と合わせて **国産材供給量の約5割**を担う
 資料: 林野庁「森林組合統計」、農林水産省「木材需給表」

○大規模工場との協定取引等により 連合会の素材販売量が増加



○施業集約化や森林経営管理制度の 担い手として重要な役割

